

## 1. 日米株式と円/ドルの推移 (チャートは過去1年)

&lt;日本株&gt;

&lt;米国株&gt;

&lt;円/ドル&gt;



	単位	2009/12/31	2010/3/31	2010/4/16	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	10,546.44	11,089.94	11,102.18	18,297.00	2007/6/20	6,994.90	2008/10/28
NYダウ	ドル	10,428.05	10,856.63	11,018.66	14,198.10	2007/10/11	6,469.95	2009/3/6
円/ドル	円	93.02	93.47	92.17	124.13	2007/6/22	84.83	2009/11/27

当社が信頼できると判断した情報に基づき当社作成

## 2. 日本株市場の振り返り

先週の振り返り	<p><b>&lt;日経平均は続落、TOPIXは一時2008年10月以来となる1,000ポイントをつけた後下落&gt;</b></p> <p>先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲102.16円(▲0.91%)と続落、TOPIXも▲0.58ポイント(▲0.06%)と若干のマイナスとなりました。業種別(東証33業種)にみると、不動産業、石油・石炭製品、その他金融業など12業種が上昇する一方、鉄鋼、証券・商品先物取引業、化学など21業種が下落しました。先々週末の日曜日、EU(欧州連合)が最大300億ユーロのギリシャ支援策に合意したことを受けて、週明け月曜日、ユーロが大きく反発して始まり、ユーロ円では一時127円台にのせる場面がみられました。こうした中、日経平均も先々週末の終値に比べ100円程度高い11,300円台で寄り付き、TOPIXも2008年10月以来となる1,000ポイントをつける場面がみられました。しかしその後週末にかけては、世界的な景気回復や円安を背景に企業業績に対する上方修正期待が株価の下値を支えたものの、①高水準で推移する騰落レシオ等への警戒感、②人民元切り上げ圧力や金融引締め観測の高まりを背景とした中国景気の先行きに対する警戒感などが上値を抑えたことから、高値圏でのボラタイルな展開が続きました。</p>
---------	---

## 3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
4月19日	Mon	米国	景気先行指標総合指数	3月	0.1%
4月20日	Tue	日本	流動性供給入札		
4月22日	Thu	日本	貿易収支	3月	+6496億円
4月22日	Thu	日本	20年利付国債入札		
4月22日	Thu	米国	生産者物価指数(除食品・エネルギー)(前月比)	3月	0.1%
4月23日	Fri	日本	全産業活動指数(前月比)	2月	3.8%
4月23日	Fri	米国	耐久財受注	3月	0.9%
4月23日	Fri	米国	新築住宅販売件数(年換算)	3月	308千件
4月23日	Fri	米国	20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議(ワシントン)(24日まで)		
4月24日	Sat	米国	先進7カ国(G7)財務相・中央銀行総裁会議(ワシントン)		

  

決算発表予定他	日本	決算発表(2月通期) 4/19 松竹、東宝(3月通期) 4/20 安川電機 4/21 JFEホールディングス 4/22 モーニングスター 4/23 KDDI、ジャコ(1-3月期) 4/21 キヤノン電子 4/23 中外製薬
	米国	決算発表(1-3月期) 4/19 シェルグループ、IBM 4/20 コカ・コーラ、コチ、バンク・オブ・ニューヨーク・ Mellon、ゴールドマン・サックス・グループ、ヤフー、アップル、デルタ航空、ステート・ストリート 4/21 マクドナルド、モルガン・スタンレー、AT&T、スターバックス 4/22 マイクロソフト、アメリカン・エキスプレス 4/23 セロックス

当社が信頼できると判断した情報に基づき当社作成

## 4. 日本株市場の見通し

今週の見通し	<p><b>&lt;週初は下値を試すも、来週からの決算発表シーズンを控え週半ばからは保ち合いに&gt;</b></p> <p>今週の日本株市場は、SEC(米証券取引委員会)がゴールドマン・サックスを証券詐欺の疑いで訴追すると発表したのを受けて、米国株安や円高が進行したことから、週前半は軟調な展開を想定しています。外資系証券の先物買建玉やアット・ザ・マネーの日経平均コールオプション(5月限)及び裁定買残が積み上がっていることも、下押し要因と考えています。ただ、来週から本格化する企業業績発表では好決算が相次ぐと見込まれるため、調整一巡後は押し目買いで反発する局面も想定されます。指標では、23日に米国で発表される耐久財受注や新築住宅販売件数、日本では22日の貿易収支が重要と考えています。また、米国の1-3月期の決算発表では、週前半の大手金融機関や19日のIBM、20日のアップルに注目しています。</p>
--------	--

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
(社)投資信託協会会員/(社)日本証券投資顧問業協会会員